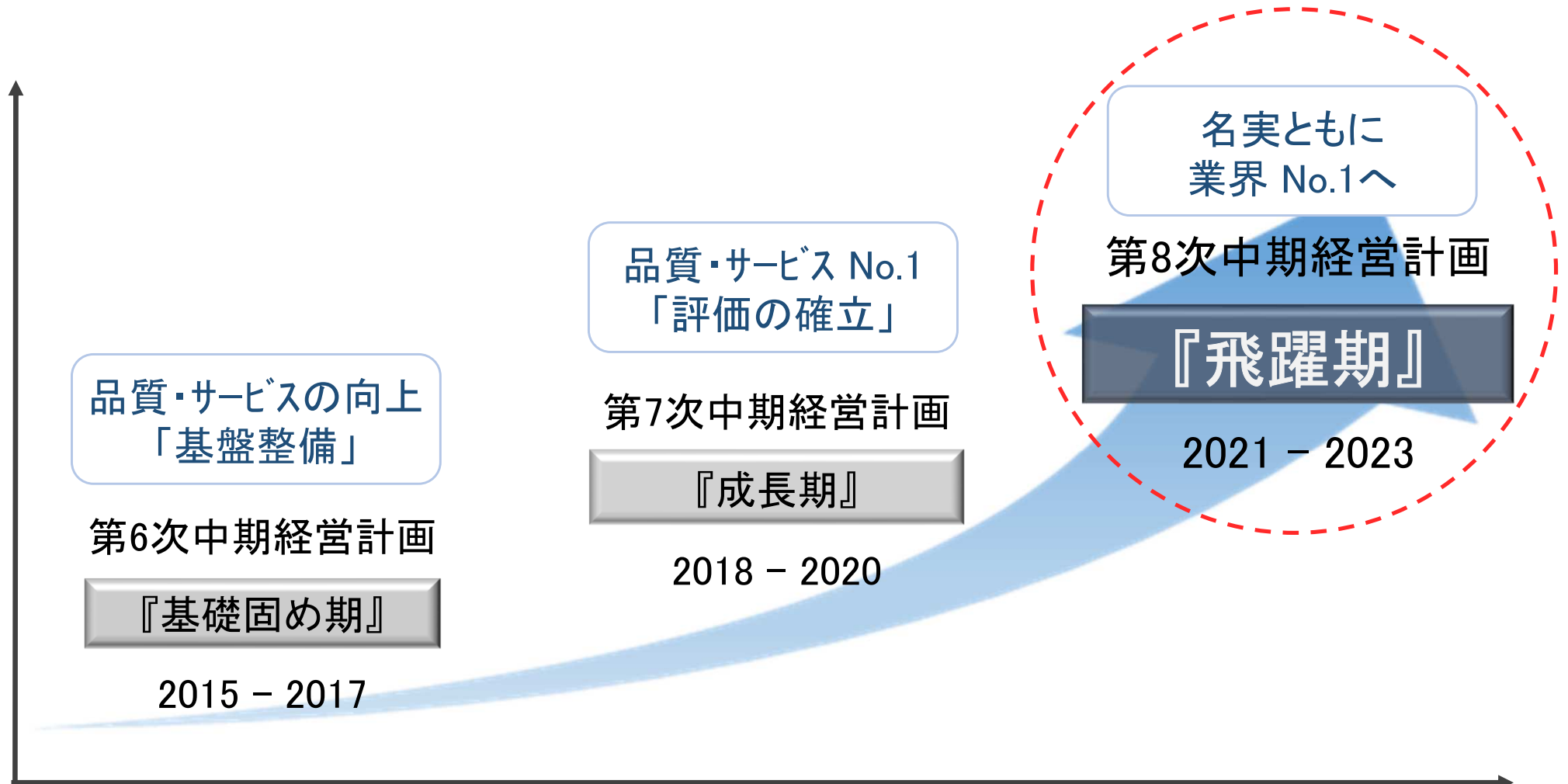


第8次中期経営計画

第8次中期経営計画の位置づけ

医療界に信頼され選ばれる企業をめざす



外部事業環境

国内の基礎的な要件

(1) 政治・経済情勢

(2) 社会的要請

(3) 技術革新

- ・ 少子高齢化の進展
- ・ 各種災害リスクの高まり
- ・ 医療費の削減
- ・ 2025年の崖(DX)
- ・ SDGsへの取り組み
- ・ 働き方改革への対応
- ・ ダイバーシティの進展
- ・ BCP再検討の必要性
- ・ デジタル化の加速
- ・ ガバナンスの強化
- ・ コンプライアンスの徹底
- ・ AI/ビッグデータの活用
- ・ 次世代通信技術(5G)による遠隔・リアルタイム情報の利用

医療・検査 業界動向

競争・競合 環境

- ・ 価格競争への対応
- ・ 地域医療連携の普及
- ・ 地方検査センターとの連携
- ・ 異業態・海外からの参入

新サービス

- ・ 高機能検査(CDx)の開発
- ・ オンライン医療への対応(クラウド化)

コロナ対応

- ・ PCR検査の効率化
- ・ 変異型コロナウイルスへの対応
- ・ 抗原定量/抗体検査への対応

Mission

医療界に信頼され選ばれる企業をめざす

■ 中期経営計画 MISSION

Customer Satisfaction

顧客満足

品質・サービスを充実し
顧客満足を最大化する

Synergy

相乗効果

様々な企業と
相互の発展を目指す

Social Responsibility

社会的責任

安定した検査機能を提供し
社会・医療界への責任を果たす

■ 中期経営計画 社内行動方針

Consensus

従業員の総意

社員の意識を統一して
事業・業務を推進する

Soundness

すべてに健全

健全な経営・健全な業務遂行
(業績・財務・コンプライアンス)

Standardization

標準化の追求

高品質と高効率を支える
標準化の推進

基本戦略フレームワーク

標準化

品質の
追求

検査品質
×
集配品質

競争力の拡充

ラボネットワークの充実

営業力の充実
(顧客基盤の拡大と深耕・非保険分野の強化)

集配プロセスの革新

DX ~ 顧客体験価値向上 + 業務効率化向上 ~

経営基盤の強化

人財開発・活用

●BCP対応

●SDG s 対応

ラボネットワークの充実

全国ラボ検査工程の標準化

- 標準化による品質向上
- ラボ管理体制の強化（採算/品質/労務）
- 拠点ラボサービスの最適化
 - 細菌検査の充実
 - 病理・細胞診検査の処理能力拡大

検査項目の充実

- 質量分析装置・次世代シーケンサーの拡充
- 感染症分野での新規検査の導入
- CDxへの対応（製造・販売体制の確立）

次世代対応

- 次世代ラボ構想の検討
（次世代フロンティア・ケミストリー・ヘマトロジー・細菌）
- BML総合研究所の再構築

ラボネットワーク
・8拠点ラボ
×
・全国緊急ラボ



検査工程の
標準化

×



検査項目の
充実

顧客基盤の拡大と深耕

- BMLグループ全社で連携したマーケティングの実施
- 本部と支社・営業所の連携による営業展開

非保険分野の強化

【医療情報】

- クラウド版 電子カルテの上市
- 臨床検査システム (B-Liner)の機能拡充

【予防医学】

- 検診事業の強化 (営業戦略/集荷体制の確立)

【食品衛生】

- 食品品質管理の総合コンサルティング
- 資格認証事業の拡大 (JFS-B/JFS-C)

集配プロセスの革新

利便性の向上 / 業務負荷の低減

■ デジタルレポーティングシステム(DRS)を推進

(依頼書/検体受付時)

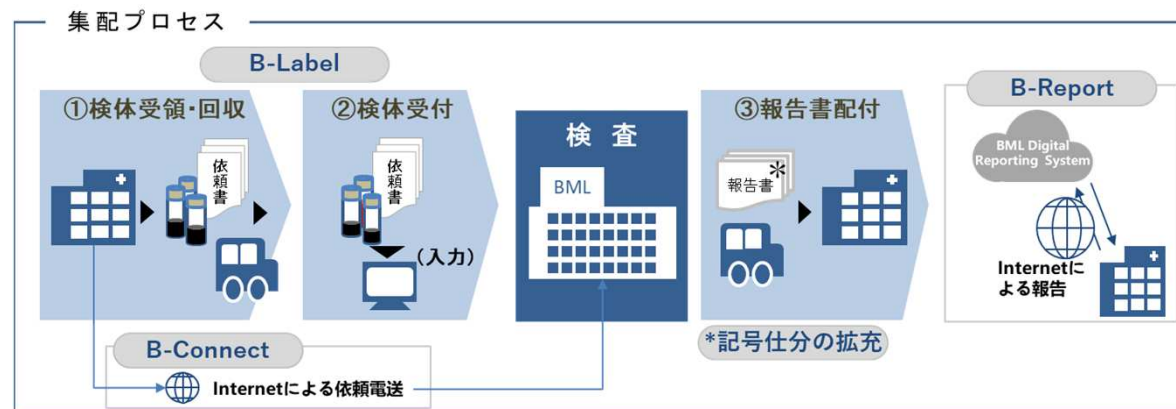
- ペーパーレス化
- 検体ラベルによる採取間違いの防止
- 受付業務の簡素化

(検査報告時)

- インターネットによる検査結果の照会
- 報告書仕分けの効率化

⇒ 「パイロット地区」から「全国」への展開

集配拠点
(全国100以上)



データ品質の追求

■ 温度管理の定着

DX : デジタルトランスフォーメーション

～ 顧客体験価値向上 + 業務効率化実現 ～

- 1: お客様に新たな価値の提供/業務効率につながるデジタル技術活用
- 2: 環境変化に対応し、中長期的にIT革新を可能とする体制・基盤の確立

■ 1: デジタル技術活用

新たなサービスの提供

- クラウド版電子カルテの開発
- 臨床検査システム (B-Liner) の販売
- DRSによる利便性向上

業務プロセスの効率化

- 業務管理系システムの刷新 (人事/総務/販売管理)
- RPAの展開

■ 2: DX 推進基盤の構築

デジタル人材の育成

- デジタル人材開発
 - ・新技術の習得
 - ・全社員の知識向上
- DX企画推進体制の整備

システム基盤の整備

- システム基盤の再構築
 - ・クラウド化
 - ・新ネットワーク化
- 既存IT資産の最適化

ITガバナンスの強化

- 経営者による情報発信
- BCP
- サイバーセキュリティ

BMLグループは、「医療界に信頼され選ばれる企業をめざす」のグループビジョンのもと、持続可能な社会の発展・成長に向けて、様々な取り組みを推進いたします。



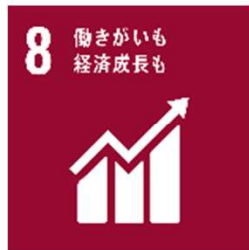
当グループの主要事業領域	
【臨床検査事業】	【環境検査事業】



- ・医療教育基金
- ・ラボラトリーフォーラム



- ・保育園の外部解放



- ・DRSの展開
- ・外部委託業務内製化



- ・総研 強靱化対応
- ・新棟 太陽光発電設置



- ・クラウド版 電子カルテ
- ・B-Liner展開



- ・アライアンス
(ラボ運営・システム開発)

第8次中期経営計画数値前提

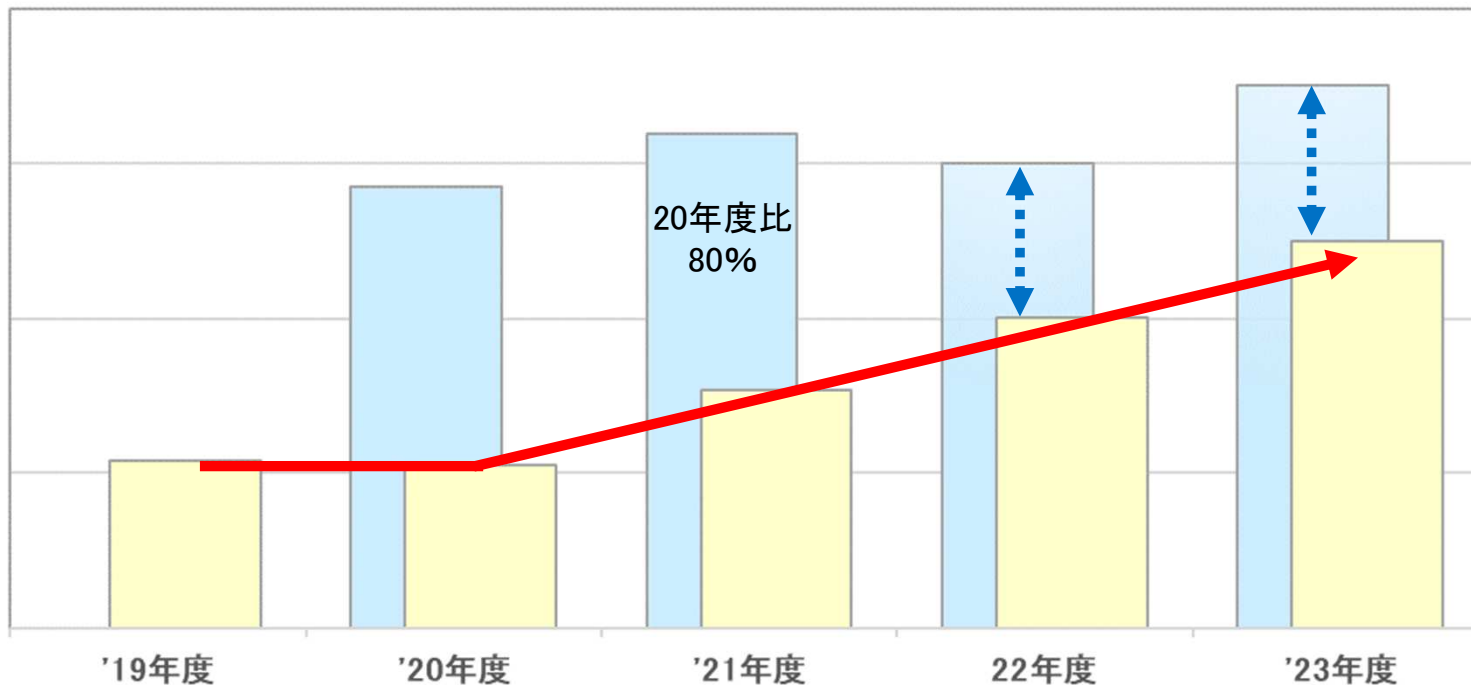
- ✓ 新型コロナウイルス関連以外は、20年度を基準として着実に成長
- ✓ 新型コロナウイルス感染症の影響は、21年度まで続き、その後段階的に沈静化することを想定

【コロナ関連売上 推移】

新型コロナウイルス
感染症



- - - 沈静化 - - - ➔



第8次中期経営計画数値目標

- ✓ 売上高 : 新型コロナウイルス検査の動向により最大1,450億円を見込む
- ✓ 営業利益率 : 2019年度までの過去5年平均8.3%を上回る8.5%以上

	2019年度	2020年度		2023年度
売上高	120,732	138,571	➔	135,000～145,000
営業利益	9,763	19,936		11,500～12,500
営業利益率	8.1%	14.4%		8.5%以上